

指定管理者評価シート

所管課:西部市民サービスセンター

施設名称	西部市民サービスセンター	指定管理者名称	西部地域住民自治協議会
指定期間	平成31年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
平成30年度	70,340 人	13,558,472 円	12,190,841 円	1,367,631 円
令和元年度	57,721 人	14,406,150 円	13,095,956 円	1,310,194 円
令和2年度	44,082 人	14,602,422 円	13,888,148 円	714,274 円

評価項目		評価
1 市民の平等な利用の確保		S
①平等な利用確保	・不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていない	A
	・個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない	S
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		A
①法令等の遵守	・条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っている	S
②地域振興への貢献	・地域関係機関、ボランティア等との連携が図られている	A
	・地域の特性を活かした自主事業を実施している	—
③広報活動の実施	・施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っている	A
④施設の利用促進	・施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている	B
⑤サービスの向上	・利用者に対するサービス向上の取組がなされている	S
3 効率的な管理		A
①施設・備品管理	・建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されている	B
	・備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われている	S
②環境への配慮	・電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいる	A
4 適正かつ確実な管理を行う能力		A
①適正な人員配置	・施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われている	A
②接遇・研修・苦情対策	・利用者に対する職員の接遇、マナーは適切である	S
	・職員の資質の向上のため、研修等を行っている	B
	・アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている	S
③安全管理・危機管理	・事故防止のための取組を行っている	A
	・事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されている	A
	・マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っている	A
④個人情報の保護	・個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られている	A
⑤収支状況	・収支計画に基づいた適切な執行を行っている	A
	・文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っている	A
総合評価		A

評価に係る特記事項

基本協定書および管理業務仕様書で定める本業務の範囲および内容について遵守されており、指定管理者として適切に業務が遂行されていると評価している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少はあったものの、感染症対策に配慮しながら利用者への理解、協力を努め、安心安全な施設運営が行われた。

今後も、新しい生活様式に対応した安全対策を講じながら、地域住民の交流促進と住民自治の充実のため、西部地域の拠点施設として、安定した施設運営に取り組んでいただきたい。

※2の②の自主事業の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響により、センターまつり等を開催できなかったことから、評価項目対象外とした。